



医療法人社団 日本矯正歯科学会 認定医・専門医

前田矯正歯科クリニック



失敗しない  
矯正歯科医院選びのヒント

前田矯正歯科クリニック 院長 前田真琴

前田矯正歯科クリニック 小冊子



## はじめに



こんにちは。前田矯正歯科クリニック院長、前田真琴です。

矯正歯科治療は、歯の神経や血管を抜いたり、歯を削ったり、人工の歯を入れたりせず、「人間が本来持っている力」で、咬み合わせを整える治療分野です。

よく、美容外科手術で出っ歯や受け口を治す治療も「矯正歯科」と言われている場合がありますが、これは誤り。歯槽骨の中で歯を動かして咬み合わせを改善する治療が「矯正歯科治療」です。矯正は、生体の反応を利用するため、健康的に歯並びを改善できるすばらしい治療なのです。

ところで矯正歯科治療には、どうしても長い時間がかかってしまいます。矯正医との付き合いも必然的に長くなるため、矯正治療には歯科医師と患者さんとの信頼関係が欠かせません。

ここで問題となってくるのが、「どの医院を選ばよいか？」ということ。そこで、この小冊子では、みなさんが後悔しない歯科医選びをおこなえるように、矯正治療についての基本的な知識、そして医院を選ぶ上でのヒントとなるいくつかのポイントをご紹介します。

よい矯正専門医とは、いったいどのような歯科医師のことでしょうか。あなたの歯科医院  
選びのお役に立てれば幸いです。

前田矯正歯科クリニック 院長 前田真琴



## 第1章 矯正歯科治療の流れ



矯正歯科治療は長い年月が必要な治療です。また治療終了まで多くのステップがあります。そこでまずこの章では、矯正歯科治療について知っていただくために治療の流れをご紹介します。

※各医院によって治療の流れは多少異なります。

## 初診相談

初診相談では、治療のあらましを説明します。患者さんの口の中の状態を見ながら治療方法、装置、期間、費用などをお話します。時間にして、約一時間程度です。



### <初診相談の内容>

- ◆1.問診
- ◆2.歯並び、咬み合わせ、顎関節などの診査
- ◆3.治療概要(内容、装置、期間、費用など)の説明
- ◆4.カウンセリング

## 精密検査

どのような症状なのか把握するため精密検査をします。

検査にはレントゲン撮影、歯型取り、写真撮影、虫歯・歯周病チェックなどを行います。

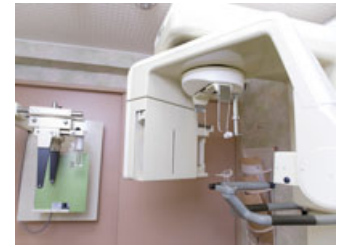
### <精密検査の内容>

#### ◆検査1

X線撮影、歯型取り、写真撮影／約50分

#### ◆検査2

咬合(こうごう)診査、顎関節診査、口腔周囲軟組織診査、唾液検査(カリエスリスク検査)／約30分~60分



## 診断結果・治療計画のご説明

精密検査で得られた詳細な情報をもとに、症状を診断し、治療計画や装着する装置のご説明をさせていただきます。期間や費用など矯正治療についての注意事項をひとつひとつ説明し、条件にご納得いただけますと、治療スタートとなります。／約40分

## ブラッシング練習(治療の準備)

装置を装着すれば、歯磨きがしにくいことから、虫歯・歯周病にかかりやすくなります。ですから、歯磨き練習(30分×1~2回)、PMTC(歯科衛生士による専門的な歯のクリーニング/約60分)を行い、治療に備えます。



## 装置装着

ここから歯を動かす治療です。矯正装置を装着していきます。装着には1~2時間かかる場合もありますので、来院時間帯にご協力ください。/約40分~120分



装置に調整を加えて歯を移動させていきます。

## 調整

装置を装着し治療が始まれば、通常4~8週間に1度の割合で通院していただきます。

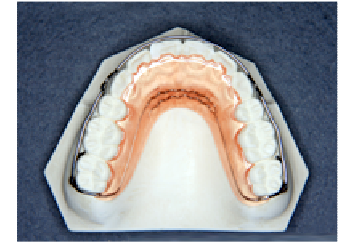
そのたびに装置を調節し、歯を動かしてゆきます。/約20分~60分

治療中は虫歯・歯周病になりやすいことから、当院では必要に応じてPMTC(専門的なクリーニング)も行っています。/約30分~60分

※10歳未満の年齢から治療をスタートする場合、第一期治療として1~2年治療し、一旦装置はずした後、13歳以降に最終治療を行う場合もあります。

## 保定治療

いままで付けていた矯正装置が外れると、後戻りを防ぐために保定(メンテナンス期間)に入ります。この際、理想的な位置に歯を安定させるために、保定装置とよばれる装置を使用します。この時期になれば、来院は数か月に一回程度です。



治療後の後戻りを防ぎ、全体が安定するまで経過をみていきます。後戻りを防ぐため2~3年通院が必要です。



## 第2章 よい矯正歯科医院とは



さて、あなたが実際に矯正治療にチャレンジしてみようと思ったとき、「どの医院にいけばいいのだろう…」ときっと悩んでしまうことでしょう。最近は矯正歯科治療を扱っている歯科医院も多く、その中でも「よい矯正歯科医院」を見つけ出すことは少し難しいかもしれませんね。

ここでは、歯科医院選びに役立ついくつかのポイントをご紹介します。医院選びの際にはぜひ参考にしてみてください。

### ポイント1) 専門技術を持っているか？

一口に「矯正の専門医院」といってもプロ選手と同じように、二軍選手からメジャーリーグまで、技術には大きな差があります。その道のプロではない限り、一般の患者さんがドクターの技術を押し量ることは難しいものですよね。そこで目安となるのが、「認定医」や「指導医」、「専門医」といった日本矯正歯科学会による認定資格です。

そもそも、矯正歯科医になるためには、どのようなステップを踏めばいいのでしょうか。まず「矯正歯科治療は、歯科における特殊な分野であり、すべての歯科医師が習得している技術ではない」という基本的な事実を理解していただきたいと思います。

歯学部教育では、虫歯や歯周病の治療、歯の欠損を補う入れ歯・ブリッジの治療、抜歯などの口腔外科治療、小児歯科・矯正歯科治療という歯科全般について講義・実習があり、学生は基本的な知識を教え込まれます。卒業後、実際の患者さん相手の治療技術は臨床研修(1年間は義務、大学病院や指導医のいる診療所で実施)で習得することになります。ここまでは、すべての歯科医師が一通り習得する「広く浅い歯科全般の治療技術」ということです。**この段階で、矯正歯科については、ごく簡単な装置を作る程度で、実際の治療経験はありません。**

実際に矯正歯科の治療技術を学ぶためには、**卒後臨床研修を修了した後、あらためて大学病院の矯正歯科研修課程(2~3年コース、大学により異なる)に入る必要があります。**「矯正歯科医」を名乗るためには、この研修課程を修了することが最低条件であると世界矯正歯科医師連盟 WFO(World Federation of Orthodontists)も謳っており、この制度は世界標準となっています。

矯正歯科研修課程では、まず矯正歯科に関わる基礎知識(成長発育、組織・解剖学、生理学、材料学、臨床治療学など)を文献中心に学びます。実際の治療は、指導教官の下、模型実習・臨床実習を徹底的にたたき込まれ、患者さんの治療経験を重ねてゆくことに

なります。**この専門的なトレーニングを受けないと、多種多様な不正咬合を診断し、様々な矯正装置を使いこなして、それを治す技術は習得できません。**

臨床の治療技術は、基礎知識とともに経験数がやはり重要です。

そして、矯正歯科学会「認定医」になるためには、主治医として治療した症例が最低 30 必要とされます。矯正治療は、動的治療で 2~3 年、保定終了までみると合計 4~5 年以上は掛かるので、多くの症例を経験するには長い年数が必要です。「**10 年で一人前**」と言われる所以です。その後も、学会を始めいろいろな講演会・研修会で最新の専門知識・技術を学び続けて、力量を高めてゆくことになります。

#### ◆認定医になるためには？

「認定医」は、5 年以上「日本矯正歯科学会」に属し、学会が認めた大学の附属病院や矯正歯科医療機関において矯正臨床の 5 年以上にわたる経験が必要です。また、学術誌に報告を公表。審査に合格した者に与えられます。矯正治療を行っている歯科医師約 20,000 人中、認定医は約 2600 人います。

### ◆指導医になるためには？

「指導医」になるためには、12 年以上の矯正治療経験をもち、認定医取得後大学病院で 3 年間の教育歴がなければ取得できない資格です。現在、日本矯正歯科学会指導医は、全国に約 570 人います。

### ◆専門医になるためには？

「専門医」とは「認定医」「指導医」よりも、さらにハイレベルな資格です。専門医になるためには、認定医であり認定医資格を取得後に 2 回以上更新試験に合格していること、最近 10 年以内に矯正臨床に関する論文、著書または学会発表があることが必要です。

また、あらゆるジャンルの不正咬合を治療する技術をチェックするため、10 種類の不正咬合についてその治験例(術後 2 年以上の結果を含む)を提出し、審査に合格しなければなりません。さらに、5 年ごとの資格の更新時には、その間に終了した 3 症例を同様に提出して審査をパスする必要があります。

こうした厳しい認定基準をクリアした歯科医師なら、症例数や経験も豊富で安心して治療を任せられると思います。

### 【専門医取得のための 10 症例】

- 顔面骨格に問題のない叢生症例または上下前歯前突症例
- 難しい顔面骨格を伴う上顎前突症例
- 上顎前突抜歯症例
- 上顎前突・過蓋咬合症例
- 反対咬合非抜歯症例
- 反対咬合抜歯症例
- 開咬症例
- 早期治療症例(乳歯が混じっている時期から治療した例)
- 成人矯正症例
- 外科矯正または唇顎口蓋裂を伴う症例

### ポイント2) 矯正専門の歯科医院であるか

同じ歯科医でも専門分野があります。やはりその道のプロにお願いすることが、患者さんにとって最善の治療法だと考えています。同じ歯科医でも得手不得手はあるものですか  
らね。



一般歯科治療を行っている先生が矯正治療も行っている場合もありますが、むし歯・歯周病・入れ歯などの治療と並行して、矯正技術を磨いたり進歩に追いついていくことはとても難しいことだと思います。矯正治療は日々進化していますから、専門医院として常に最新の技術を吸収していく必要があります。

### ポイント3) 治療についてしっかり説明してくれるか？

矯正歯科治療の最中は、自分ではなかなか経過が見えないことも。また専門的な用語が使われてしまうと、一般の人にはわかりづらいもの。そこで、**治療の状況や計画をわかりやすい言葉で報告してくれる医院を選びましょう。**

他院と検討されている方にも、セカンドオピニオンとしてアドバイスすることが可能な医院もあります。まずは初診相談やカウンセリングで、実際に説明を聞いてみることもよいかもしれませんね。

また、長くお付き合いする矯正治療ですから、矯正医との信頼関係が重要です。治療のことだけでなく、他愛ない世間話でも気兼ねなく会話できる先生かどうかで、これからの通院が楽しみになるか、苦痛になるかに大きく影響を与えます。

### ポイント4) 咬み合わせを重視した治療をしているか？

もちろん、誰でもわずらわしい装置を長期間付けておくのはイヤなものですし、早期に治療を終えてあげたいという気持ちは、ドクターも同じです。とはいえ、早期に装置を外してしまうと、治療後、歯並びが後戻りしてしまうなど、多くのデメリットがあります。

**矯正治療の目的は、見た目を美しくするだけではなく、良い咬み合わせを得ることにあります。**そのため、スピードよりも咬み合わせの完成度を重視した医院のほうが安心して治療を受けることができますよ。

### ポイント5) 感染対策を徹底しているか

医療機関で起こりうる問題として、院内での感染・汚染が挙げられます。こうした問題を未然に防ぐためにも、**消毒・滅菌・清掃の徹底など、衛生管理にも万全を期している医院を選びましょう。**

歯科医院における感染対策としては、以下の様なものがあげられます。

#### ◆オートクレーブ(高温高圧蒸気滅菌器)

感染性の汚れ(主に血液)が付いた器具や、歯肉や粘膜の内部に入る可能性のある器具は、この器械で滅菌処理します。ピンセット、スケーラー、探針など金属製品が対象です。



#### ◆グルタルアルデヒド(薬液)

感染性の汚れが付いた器具で、オートクレーブに入れられないプラスチック製品や、高温にすると切れが悪くなる刃物(ニッパ類、切削器具)が対象です。歯型を取った印象材(ゼリーが固まったもの)もこの薬液に漬けてから石膏を流し込んでいます。



#### ◆酸化水

消毒レベルで十分な場合に使う薬液です。感染性の汚れ(主に血液)の付着がなく、歯肉や粘膜の内部に入る可能性のない器具(たとえ矯正用プライヤー(ペンチ類)、写真撮影用ミラー)は、この液で処理します。感染性の汚れが付いた器具の一次消毒や、口の

中に入っていた矯正器具を削る前の消毒などにも使います。また、傷口の消毒や止血にも有効です。



#### ◆口腔外バキューム

歯を削った時の削りかすや唾液、血液などの汚染物質の飛散を最小限にするため、口のすぐ外でそれらを吸引する装置です。口の中で吸引するバキュームと併用することで効果を上げています。





## 第3章

### 当院の矯正歯科治療の特徴



ここからは当院の矯正歯科治療について少しご紹介します。

当院は矯正専門のクリニックとして、開業以来、小さなお子さま・年配の方の症例まで、数多くの歯並びを改善してきました。

人よりも厳しい道のりを歩んでいたぶん、矯正医に必要とされる臨床技術、幅広い知識を身に付けることができました。より高度な治療を提供できる矯正専門医院だと自負しています。

#### 「専門医」、「認定医」、「指導医」の資格をもつ院長

矯正治療に携わること、約30年。現在までの症例数は、3500以上に及びます。もちろん治療技術はキャリアだけで判断できませんが、多くの患者さんに信頼されるドクターに成長できたと感じています。

また、高い認定基準から取得するのが困難とされる、日本矯正歯科学会による「専門医」をはじめ、「認定医」、「指導医」の3つの資格を持っています。



ちなみに、専門医になるための試験の合格率は、平均して約 50%。資格取得後も、5 年ごとに症例を提出し試験に通らないと更新できない、厳しい資格です。「全国で矯正歯科治療をしているドクターの頂点に立つ存在」—それが、「専門医」の資格を持ったドクターといえます。

## 痛みの少ない治療

「歯の矯正中は、痛みが伴うことがある」——歯科矯正の経験者からそんな声をきいたことはありませんか？

そこで当院では「できるだけ穏やかなチカラで歯を動かす」をモットーに、少しでも痛みを減らすよう工夫しています。

### <当院の取り組み>

#### ◆超弾性ワイヤー

装置を使って歯を動かすときの圧力が強すぎると、歯根膜に締め付けられるような痛みを伴う場合があります。しかしこのワイヤーは、ゴムのように「しなる」特徴があるので、弱い力で優しく歯を動かすことができるのです。

#### ◆クリッピー・ブラケット

従来のブラケットより歯が早く動き、かつ痛みが少ないといわれています。クリッピーは、歯を引っ張るワイヤーと歯に固定するブラケットとの間に摩擦が発生にくく、弱い力をかけ続けられる画期的な装置です。

#### ◆接着剤で装置を固定

従来の矯正治療では、「矯正用バンド」と呼ばれる「ベルト」のような金属の部品を奥歯に装着することで、矯正装置を固定していました。しかし、このバンドが口の中の粘膜を刺激し、口の中の痛みや不快感を引き起こしていました。また、汚れが溜まる場所ができ、虫歯になりやすいといったデメリットもありました。

そこで当院では「矯正用バンド」を使わず、特殊な接着剤を使用し、矯正器具を直接歯に接着し、固定。装置の装着時や撤去時に痛み・不快感を大幅に軽減しています。

## インプラント矯正

インプラント矯正は、負担が少ない矯正として近年注目されている治療方法です。

小さなスクリュー(ミニスクリュー・インプラント)を歯ぐきに埋入。これを土台にし、歯を引っ張ることで、**今までは困**



**難とされてきた歯の移動を実現でき、難しい治療の治療期間を短縮することができる画期的な治療法です。**

動かしたい歯だけを動かすことができ、ヘッドギアや口の中の複雑な装置が要らなくなるメリットがあります。より精度の高い治療結果を得ることが期待できます。

## 有料カウンセリング

無料カウンセリングを実施している医院が多いなか、当院ではあえて有料(3,150 円)です。

これは、患者さんに一般的な情報ではなく、正しい情報を提供するため。当院では 60～90 分ほどたっぷり時間をとって綿密な検査・診断を行います。せっかく時間をとって来院

してくださる患者さんに、プロとして正しい情報を提供したいと考えています。

また、当院ではドクターと患者さんの橋渡し役として、トリートメント・コーディネーターもご相談を伺っております。直接ドクターに聞けなかった悩み、質問・疑問など、お気軽にお話ください。患者さんが快適に診療を受けられることはもちろん、その方の望みを最大限に叶えられるよう尽力します。

## 「健康保険適応」の矯正治療が可能

矯正治療は、基本的に健康保険が適用できません。ほとんどの場合「自由診療」になるため、治療費が比較的高額になってしまいます。しかし、**国が定めた特定の症状に限り、保険が適応される矯正治療が可能です。**

当院は「健康保険適応の矯正治療ができる施設」として、厚生労働省より認定されています(指定自立支援医療機関)。ぜひ一度ご相談ください。



## おわりに



いかかでしたか？矯正歯科治療と医院選びについて、少し分かっていただけたでしょうか？矯正治療の悩みや疑問が少しでも払拭できれば幸いです。

ところで、矯正歯科治療の目的とはなんでしょう？

それは、**咀嚼をはじめ発音、表情など口の機能を回復することだと私は考えています。**治療後、「よく噛めるようになり、より食事を楽しめるようになった」「以前にも増して、滑舌が良くなった」など、見た目の改善以外にも、多くのメリットがあるのです。

治療後、顔つきはもちろん、性格まで劇的に変わる人も少なくありません。

以前、ある患者さんで、外科手術を伴う大掛かりな治療を担当したことがあります。治療後、コンプレックスから開放され、見違えるほど顔つきが変わった患者さんの姿は今でも忘れられません。

ですから、**私にとって矯正歯科とは、「人を幸せにできる治療」です。**

この小冊子を手にしていただいたみなさんにも、ぜひこの幸せを実感していただきたいと思っています。

「口元にコンプレックスがある」「矯正治療を検討しているけど、どこに行っているのか分からない」「矯正を以前行っていたが、長続きしなかった」

こんな悩みをお持ちの方は、ぜひ一度ご相談ください。きっと満足できる歯並びを提供できるはずだと信じております。

前田矯正歯科クリニック院長／前田真琴



#### 【経歴】

1973年 栄光学園卒(21期生)

1979年 東京医科歯科大学歯学部卒業(学27回)

1979年 東京医科歯科大学歯学部矯正学教室

1981年 東京医科歯科大学歯学部矯正科卒業後研修課程修了

1988年 診療に従事する傍ら、口腔内の接着に関する研究で歯学博士号

1988年 港南台駅前にて開業

港南区歯科医師会理事、新横浜歯科衛生士学院講師、日本臨床矯正歯科医会理事、日野南小学校PTA会長などを歴任

日本矯正歯科学会認定医、指導医取得

2005年～2007年 日本臨床矯正歯科医会神奈川支部長

2006年 日本矯正歯科学会専門医取得

#### 【所属学会】

日本矯正歯科学会、顎関節学会、顎変形症学会、接着歯学会等

#### 【所属医師会】

日本歯科医師会、日本臨床矯正歯科医会、アメリカ矯正歯科医会(AAO)

## 前田矯正歯科クリニック

【住所】〒234-0054 横浜市港南区港南台 4-23-27 第2 荒井ビル 2-D

【電話番号】045-831-7546

### 【診療時間】

月・火	水	木	金	土	第2日曜
10:00～ 12:30	休診	休診	休診	10:00～ 13:00	9:00～ 12:00
14:00～ 18:30	15:00～ 19:00	休診	14:00～ 18:30	14:00～ 18:30	

### 【アクセス】

- JR 根岸線「港南台駅」より徒歩 3 分
- 横浜横須賀道路 日野 IC・港南台 IC から 5 分

ビルの地下に駐車場があります

